

「J A農援隊」による地域労力支援システムの構築

【平成25年度長崎県普及現地事例情報（島原振興局農林水産部南島原地域普及課）】

[抄録]

・畑作地帯で多様な園芸産地が形成されている島原地域でも、農業における労力の量的・質的低下が問題となってきた。

・平成21年度から3年間、緊急雇用対策として島原雲仙農協が運営主体となって実施された「ながさき農援隊」は、規模拡大や高齢化等で労力を必要とする農家への労力支援が行われ好評であった。

・平成24年度からは農協が運営する新たな労力支援組織として「J A農援隊」が稼働している。

[本文]

## 1. 事例場所の概要

島原半島は、県本土の南東に位置し、3市（島原市・雲仙市・南島原市）1農協（J A島原雲仙）からなり、本県を代表する農業地帯である。

多様な土壌条件や温暖な気象条件に恵まれた普通畑地帯であり、ばれいしょ、レタス、だいこん・にんじん等の露地野菜やいちご、トマト、きゅうり等の施設野菜のほか、畜産、葉たばこ、果樹等、多彩な農業が営まれ、県を代表する農業地帯となっている。

## 2. 活動対象及び概要

名称：島原雲仙農協農援隊

所在地：島原市

概要：農援隊員数：35名 オペレーター数：6名

島原雲仙農協の7営農センターに配置（H25）

営農センターごとの配置数は、地区の労力支援対応品目等により差をつけている。

## 3. 背景・指導・ねらい

（背景）

多様な土壌条件と温暖な気象条件の下に園芸品目を主に、肉用牛、養豚、養鶏といった畜産、葉たばこ等の工芸作物など多彩な農業が営まれている島原半島地域であるが、販売農家数の減少や農業従事者の高齢化、後継者不足といったように、農業生産を担う労力面での量的・質的低下による産地の維持・発展が難しくなってきたという問題が出てきていた。

このような中で、緊急雇用対策による「ながさき農援隊」事業を引き継ぐ形で、島原雲仙農協が農援隊員をJ Aの臨時職員として雇用し、規模拡大等により外部労力への依存度が高い農家や、家族の病気や怪我で緊急に労力を必要とする農家、高齢化により労力支援を要

する農家等へ有料で労力支援を行う組織を立ち上げた。

(指導)

農協の労力支援組織を側面から支援する形として、3市、農協、県(振興局)からなる「島原地域雇用労力支援協議会」を普及が主導する形で立ち上げ、「JA農援隊」の円滑な運営を支援する方策等を協議する場とした。

協議会では、「JA農援隊」の活動実績等に基づく課題の洗い出しや先進事例研修等により、課題解決策の検討を進めた。3市に対しては運営への助成のあり方等も検討した。

(ねらい)

家族労働力の低下から外部労働力への依存が高まってきている中で、「JA農援隊」による労力支援は、産地としての地域農業の維持・発展に大きく寄与しているが、農援隊の収益のかなりの部分を占める農家からの利用料金だけでは人件費も賄いきれておらず、経営収支は構造的に赤字となっている。

端境期となる夏場の利用度を高めるための新規品目の導入や、農援隊だけでは対応できない部分を補完するシステムの構築を図ることが必要となってきた。

#### 4. 具体的データ

(1) 情報の内容・方法・特徴

(特徴)

関係機関の連携と役割に応じた支援体制のもとで支援効果を上げることができた事例

(主な内容と方法)

・島原雲仙農協は、独自の組織として「JA農援隊」の運営による労力支援を通して、地域農業の維持・発展を支えている。

・島原市、雲仙市、南島原市の3市は、平成24年度は利用農家の料金負担軽減を図ることを目的とした3市同水準の助成制度を実施。平成25年度からは、「JA農援隊」への直接的な助成制度に切り替えて支援を行っている。

・振興局は、「島原地域雇用労力支援協議会」の事務局として、協議会での検討や先進事例研修、専門家による研修会の実施を通じて、「JA農援隊」の円滑な運営体制に向けた情報の提供と関係機関の連携による支援体制の構築を進めている。

(2) 成果

・「JA農援隊」は、労力支援を通じて、経営規模の大きい農家や緊急に労力を必要とする農家に対し有益な組織であることが明確となった。

・農繁期等、「JA農援隊」だけでは対応が難しい時期において、生産部会の収穫班とい

った組織との連携など、農援隊を補完するシステムの必要性が明らかとなった。

- ・端境期である夏場の「JA農援隊」の雇用維持に向けた補完品目として「こまつな」の産地化がなされた。

### (3) 普及活動上の留意点

- ・島原地域における労力支援システムは、大規模な露地野菜産地で想定される労力支援の体制であり、経営類型が異なる地域に直に波及できるものではないが、外部からの雇用労力の依存度が高い大規模経営農家や農業法人への労力支援のあり方を検討する際の参考となり得る。